

台風12号の被害と救済行動について



【台風12号により被害を受けた『熊野市駅構内の井戸川に架かる鉄橋』】

台風12号は9月3日に高知県東部に上陸し、その後ゆっくりと北上しました。台風は大型で動きが遅かったため、大きな被害が発生しました。特に紀伊半島の降水量は広い範囲で1000ミリを超え記録的な大雨となりました。土砂災害、浸水、河川のはん濫等により、和歌山県、奈良県、三重県などで多数の死者、行方不明者が発生したほか、鉄道の運休や被害などの甚大な被害が発生しました。

JR東海労紀伊長島地区分会、亀山分会の組合員宅などが被害を受けました。井戸川上流にある組合員宅に土砂流入と離れとガレージの流失等の被災がありました。私たちは9月7日から11日まで本部役員、地本役員、三協組合員、分会組合員、関西地本組合員が夏日を思わせる暑い日に、慣れないスコップや一輪車で汗ビッシヨリになりながら家の回りに堆積した土砂を片付けたり、崩れた家を片づけたりと労働組合としてできる最大の救済を行ってきました。

